

2020 年度 硬式野球部 メンバーインタビュー

部員数	150名程度	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群, 社会・国際学群, 人間学群, 理工学群, 情報学群, 医学群	2018年 秋季リーグ戦2位 2018年 明治神宮大会出場
練習場所	筑波大学野球場	

体育 4 年 島脇史行

体育 2 年 濱内太陽

一 私が目指す「野球」

島脇

熱いプレーをしたいです。全国各地から選手が集まっているのがチームの特徴、いろんな選手が集まってきている中で、選手として、熱いプレーをしたいと思っています。

濱内

個人として、チームを救えるようなプレーをしたいと思っています。「ここで一点が欲しい」そんな時に、その一点が取れるような、そんな選手になれるようにイメージを描いて、日々取り組んでいます。



ー 筑波大学をどう思っていた？

島脇

国公立の中で、野球が強い大学というイメージでした。実際に入学後も、リーグ戦や神宮大会出場など、結果が出ているチーム。

また今、4年生になって抱えている印象としては、いろんな考えを抱えている選手がたくさんいて、本当に自分にとっても勉強になるチームだと感じています。

濱内

入学前はスポーツが盛んで、勉強、研究が秀でている大学という印象でした。

入学してもそれは変わりません。部活をするだけではなく、研究や資料、研究結果と深く結びつけながら、競技のレベルアップに繋がられる。スポーツが盛んで研究や学びに長けた大学です。

ー 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

島脇

いろんな学生が集まって、そのなかで、個人の色を出し合って、チームでの戦い方を模索できるところがいいところだと思います。

上級生からすると、下級生が練習でも意見を出してくれる場面が多く、縦のつながり、学年を超えた繋がりがあるところがいいところで、好きなところです。

濱内

全国から選手が集まって、色々な考え方を持った学生が多く、そのようなチームメイトから刺激を受けられるところがいいなと思います。いろんな色が混ざった、それをお互い引き出し合いながらできるチームだなと思います。

また、ON と OFF がはっきりしていて、楽しむことや気を引き締めることができるところが好きなところです。メリハリがあり、活動しやすい。優しい上級生のおかげで、下級生の自分ものびのびとプレーできて有り難いなと思っています。



ー これからの目標（直近の目標、人生の目標）

島脇

チームとしては、目標として掲げていたリーグ優勝に向けて活動しています。結果はもちろんそれ以上に、4年生の自分たちが、筑波大学硬式野球部に何か残したいです。

将来は、自分のやりたい事を見つけないですかね。今よりも広い視野で人生を見られればいいなと思っています。

濱内

チームとしてはリーグ戦での勝利を目標に、そして全国大会に出場する。そのためにはリーグ戦で勝つ。チームで大きな事を成し遂げる、それが達成感や4年生から残していただける何かの一つかなと思っています。

個人としては卒業後も野球を職にしていきたい。競技力の向上とスキルアップを目指して取り組んでいます。

ー 未来のチームメイトに一言

島脇

どこの大学で野球をやっても、自分次第でどうにでもなることは大きい。ただ、筑波大学は、その中でも、自分の中でやりたい事をやれる環境が整っています。こうしてみたい！これってどうなんだろう？と意見を求めたり、助けを求めるには、いい環境、成長しやすい場所です。是非筑波大学に来てください！

濱内

筑波大学の硬式野球部は、自分自身で考えてやる要素がとても大きいです。高校野球をやっている人もそうでない人も、しっかりと自分たちで考えることができれば向上できます。

野球以外の面でも、学びがあり成長できるチームです。ひたむきにやる、一つのことに全力で取り組める人にはすごくいい環境なので、頑張ってください。



よくあるご質問

Q 筑波にしかない魅力を教えてください。（高校3年生・受験生）

A 弊部の魅力は、「学生」が主体になっていることです。練習メニューは監督などの先生方から多少提示されることもありますが、練習の殆どが選手や学生コーチの考えを基に行われています。試合の反省なども選手から意見が出ることが大半で、日々の部活運営における約150名の学生の貢献度は非常に高いです。

また、大会運営や広報活動にも力を入れているので、選手でも多様な側面から野球に関わることもできます。